

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	ロボット支援下腹腔鏡前立腺摘出術(RARP)での末梢神経ブロックの筋弛緩作用		
2. 対象患者	平成27年1月～平成28年9月までに当院でRARPを施行した患者		
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日～ 平成 30年 3月		
4. 実施診療科等	麻酔科 泌尿器科		
5. 研究責任者	氏名	野口 智子	所属 麻酔科
6. 研究の意義	末梢神経ブロックは術後疼痛コントロールのために一般的に行われている手技の1つです。今回、末梢神経ブロックの筋弛緩作用の有効性を検討し、筋弛緩薬投与量を相対的に減らすことで医療経済的なメリットを得ることを立証することには大きな意義があります。		
7. 研究の目的	末梢神経ブロックの併用で筋弛緩作用の有効性を証明することで、医療経済的なメリットや不必要な筋弛緩薬の投与を避けることができ、安全性の向上につながります。		
8. 研究の方法 (使用する資料等)	過去2年間に当院でロボット支援腹腔鏡前立腺摘出術を受けられた患者を末梢神経ブロック施行群と非施行群に分け、術中の筋弛緩薬の使用量等を後方視的に比較検討します。		
9. 個人情報の保護	本研究で取得した情報は、個人が特定されないように配慮し、本研究以外に使用しません。研究機関中、及び研究終了後の研究発表の際にも個人が特定されないように十分配慮いたします。また、研究内容をホームページで公開し、申し出があった場合には対象事例のデータを除外いたします。		
10. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反はありません。		
11. 問い合わせ先	弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座		
	電話	0172- 39- 5113	FAX 0172- 39- 5112

提出先

医学部附属病院 総務課

総務グループ 総務・広報担当

E-mail : jm6453@hirosaki-u.ac.jp